

## 臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の試料・情報を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益となることはございません。

研究課題名	能登半島地震発災後の特定機能病院として金沢医科大学病院摂食嚥下センターが担った役割と実践の報告
研究機関名	金沢医科大学病院
研究責任者	金沢医科大学病院 リハビリテーションセンター 経田香織
研究参加拒否 申込受付期間	2024年6月1日 までにお知らせください。 上記の日付以降は、匿名化の処理を行い個人の判別が出来なくなるため研究対象からの除外は出来なくなりますので、研究参加の拒否をされる場合は期日までにお願いたします。
研究機関	倫理審査委員会承認日 ~ 2024年8月
対象者	2024年1月1日から2024年3月31日の間に当院に震災関連で入院し、嚥下外来を受診した患者
当該研究の意義・目的	震災関連嚥下障害患者の属性を明示し、被災地に最も近い特定機能病院における嚥下リハビリの実践内容を詳報することによって、その効果と今後の課題を明らかにします。これにより今後の災害時の嚥下障害に対する予防、対策に関して有用な知見がえられるものと考えられます。
方法および研究で利用する試料・情報について	本研究は対象患者さんのカルテから入院に至った経緯、背景、嚥下障害に関する情報を収集し、得られたデータから患者さんの属性や嚥下障害の傾向を分析します。この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることはありません。また使用するデータはすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。 情報：全患者数、嚥下外来コンサル数、嚥下外来対象者の属性（年齢、性別、入院元：（自宅から、避難所から、療養施設から、病院からなど）、入院理由：（療養施設が被災、疾病発症、状態悪化など））、嚥下、身体機能評価：VF、VE、FOIS、FIM 得られた研究データは、学内規程で定められた研究発表後10年間保管され、その後適切な方法にて破棄されます。
外部への資料・情報の提供	外部への提供はありません
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。この研究で得られる結果を実際の治療に結びつけるには、今後さらに研究を進める必要があり、今すぐ、個人の病気の治療などに役立つものではありません。以上のことが

	ら、今回の研究では、ご本人に関する解析結果をお知らせする事は想定しておりません。
利益相反について	この研究の計画・実施・報告においては、金沢医科大学利益相反マネジメント規程に則って、適正に行われます。また、この臨床研究にご参加いただくことでああなたの権利・利益を損ねることはございません。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。
問合せ先	その他、この研究に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。 金沢医科大学病院 リハビリテーションセンター 経田香織 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 電話：（代表）076-286-3511 内線（25291）

作成日：2024年5月1日